

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【公開番号】特開2013-123843(P2013-123843A)
 【公開日】平成25年6月24日 (2013.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-033
 【出願番号】特願2011-273524(P2011-273524)
 【国際特許分類】

B 4 3 K 8/02 (2006.01)

【F I】

B 4 3 K 8/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月3日 (2013.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

バルブ収装筒 2 内には、その先端側から順に、インク貯留部材 5 とバルブユニットケース 6 とが装填される。インク貯留部材 5 は、基板 7 の中央に延設されて芯 4 の後半部が摺動可能に挿入される芯挿入筒 8 と、芯挿入筒 8 の外周面にその全長に亘って狭間隔置きに配設される円形の環状板 9 とから成っていて（図 6、7 参照）、後述するようにしてインク貯留部材 5 に導入されたインクが、各環状板 9 間の隙間とバルブ収装筒 2 の内周面とに囲まれるインク貯留空間 1 1 を満たすように構成される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

上記構成において、インクタンク軸 1 内のインクは、芯 4 を下向きにすることにより、自重で蓋部材 1 6 のインク通流孔 1 7 を自由に通抜けバルブユニットケース 6 内に流入し、そこを満たす。このバルブユニットケース 6 内に入り込んだインクは、芯 4 がバルブ収装筒 2 内に押し込まれてインク供出口 1 2 が開放されるまで、そこに留まる。そして、芯 4 がバルブ収装筒 2 内に押し込まれてインク供出口 1 2 が開放されると同時にインク貯留部材 5 内に流入し（図 3）、流入したインクは、上述したように、環状板 9 間の狭い隙間とバルブ収装筒 2 の内周面との間のインク貯留空間 1 1 を充填すると共に、随時芯 4 に染み込んでいく。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

- 1 インクタンク軸
- 2 バルブ収装筒
- 3 縮径部

4	芯
5	インク貯留部材
6	バルブユニットケース
7	基板
8	芯挿入筒
9	環状板
10	縦溝
11	インク貯留空間
12	インク供出口
13	弁体
14	開閉ピース
14 a	支持部
14 b	鏑部
14 c	ストッパー
15	リターンスプリング
16	蓋部材
17	インク通流孔
18	芯挿入孔
19	フランジ